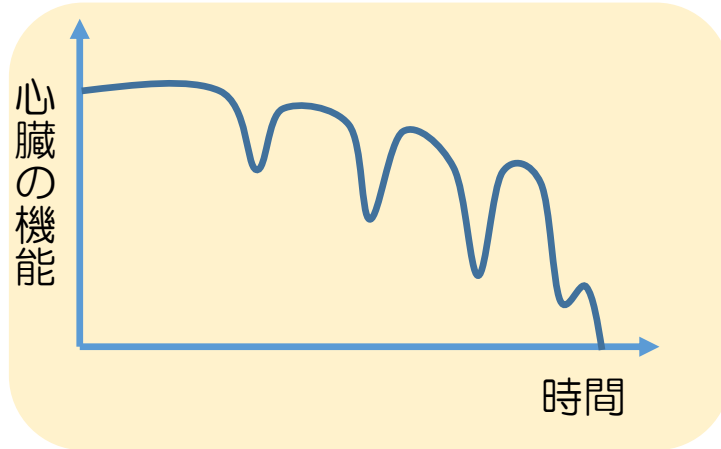


心不全で医療用麻薬をお使いになる方へ
息苦しさを和らげるために



心不全とは

心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら、だんだん心臓の機能が低下する病気です。



心不全の原因

高血圧

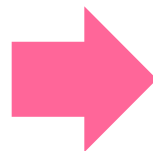
心筋症

心筋梗塞

不整脈

弁膜症

先天性
心疾患



心不全



全身へ十分
血液を送れ
ない

心不全の症状

心不全になると、心臓から十分な血液を送り出せなくなり、**息苦しさ、疲れやすくなる、むくみ、体重増加**などが出てきます。



疲れやすい



むくみ



体重増加

とくに**息苦しさ**は心不全の方に多くみられる症状で、水が体（肺や足など）にたまるのが原因です。



水が溜まる



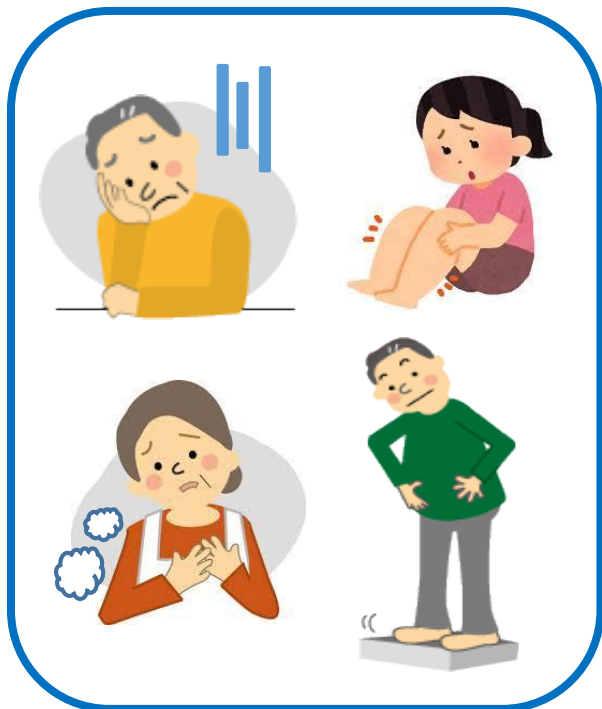
息苦しさ

むくみ

体重増加

心不全の治療薬

- 心臓を保護するACE阻害薬（アンギオテンシン変換酵素阻害薬）、ARB（アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬）
- 心臓を休ませるβ遮断薬
- 体にたまっている水をおしっことして出す利尿薬 など



心不全
症状に…



心不全治療薬

- ACE阻害薬
- ARB
- β遮断薬
- 利尿薬 など



それでも息苦しさが改善しない場合、治療薬に加えて
医療用麻薬（モルヒネなど）を使うことがあります。



改善しない
息苦しさに…



心不全治療薬

- ACE阻害薬
- ARB
- β遮断薬
- 利尿薬 など



医療用麻薬

医療用麻薬とは

医療用麻薬は主に「がん」の痛みを和らげる目的で使われていますが、心不全の**息苦しさ**に対しても効果があると報告され、当院でも使用しています。

適切に使用すれば、麻薬中毒になることはありません。また麻薬によって寿命が縮んだり、麻薬は末期に使用するものであるというのは誤った情報です。詳しくは、医療麻薬Q&Aで確認しましょう。



医療用麻薬の種類・使い方

当院では、心不全の**息苦しさ**に対して**モルヒネ**を使用する場合があります。

投与経路は

- 皮下注射
- 静脈注射
- 経口（モルヒネ水）があります。



医療用麻薬Q&A



Q 麻薬を使うと中毒になるのでは？

A 医療用麻薬は、適切に使用すれば安全なお薬であり中毒になることはありません。病棟スタッフや緩和ケアチームで量や副作用の確認をしながら使うので、安心してください。

Q 寿命が短くなるのでは？

A 医療用麻薬は、息苦しさを改善させるために使う薬です。医療用麻薬を使うことで寿命が短くなるということはありません。

Q 麻薬を使うのは末期だけ？

A 医療用麻薬を使うのは末期だからではなく、息苦しさを和らげるためです。

Q 医療用麻薬を始めてしまうと、やめられなくなるのでは？

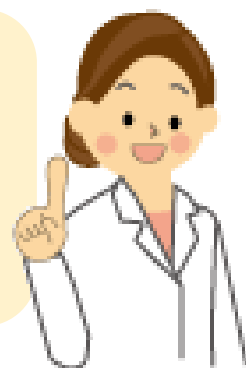
A 医療用麻薬は息苦しさに対する対症療法です。息苦しさが改善されれば薬を終了したり、医療用麻薬以外の飲み薬に変更する場合があります。

医療用麻薬の効果を伝えるために

薬の量は、患者さんの症状や状態に合わせて調節します。

いまどのくらい、どのような息苦しさか医療スタッフに教えてください。

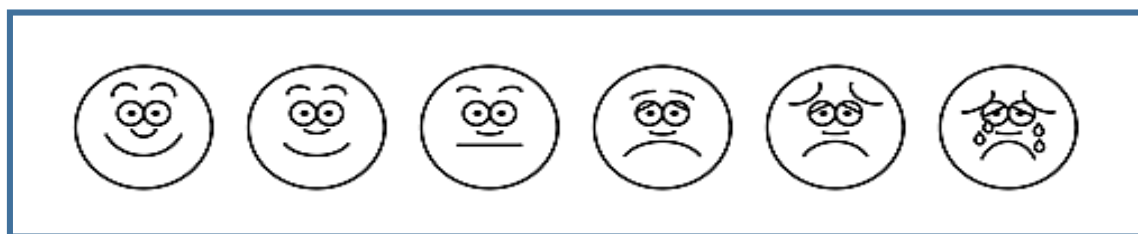
息苦しさを評価にはつぎの方法があります。



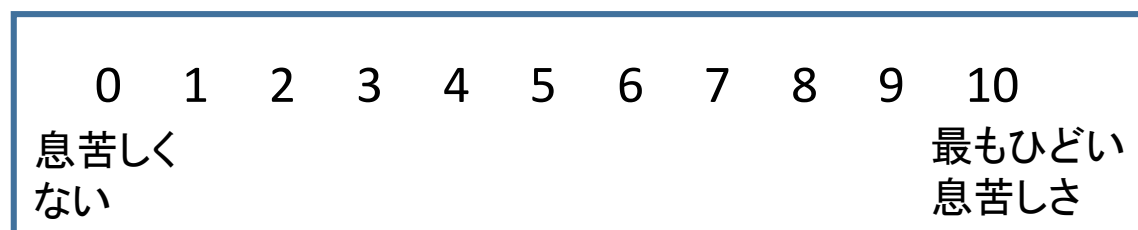
- ① Visual Analogue Scale (VAS) : 10cmの線上で、どのあたりの息苦しさを印をつける。



- ② Faces Pain Scale (FPS) : 今の息苦しさに一番合う顔をえらぶ。



- ③ Numerical Rating Scale (NRS) : 0から10の数字であらわす。



医療用麻薬の副作用と対策

便秘



最も多くあらわれる症状といわれています。
下剤を使って調節します。

吐き気



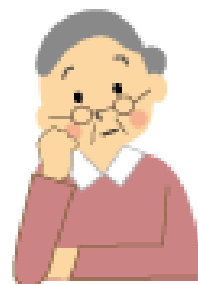
開始から1～2週間の間にあらわれることがあります。
自然に治まることが多いですが、ひどい時は吐き気止めで調節します。

眠気



開始時や、薬の量が増えたときにあらわれることがあります。
自然に治まることが多いですが、ひどい時は薬の量を調節します。

その他



その他に意識の混乱、呼吸回数が減る、かゆみなどの症状があらわれることがあります。

おわりに

医療用麻薬は、世界中で使われています。

症状の改善は生活をより良くすることにもつながります。

不安なことやお聞きになりたいことがあれば、病棟スタッフや緩和ケアチームにいつでもお気軽にお伝えください。

